

「女性に対する暴力の根絶を求めて祈る」礼拝



司 式	主教フランシスコ・ザビエル高橋宏幸 主教イグナシオ入江修 司祭セシリア大岡左代子
補 式	司祭グロリア西平妙子 司祭クリストファー永谷亮 執事セシリア下条知加子 執事ヒルダ藤田美土里
説 教	司祭アンブロジーア後藤香織
聖書朗読	クララ吉谷かおる
奏 楽	ブリジェット堀江真理子
式典長	司祭フランシス下条裕章
式典長補	執事スザンナ中村真希
撮影編集	司祭ダビデ市原信太郎 ラファエル渡辺拓也

前 奏

聖 歌 380 (来ませ聖霊よ)

まね 招きのことば

司式者 はは ちち かみ
母であり父である神よ
あなたの愛には終わりはありません。
わたしたちのいのちのただ中であなたを知り
わたしたちはあなたのみ手の中に安らぎを得ます。

かみ こ しゅ
神の子なる主イエスよ
あなたはわたしたちと共に
この世界の中で傷つき、孤独な人びとと共に苦しめます。
それをわたしたちは感じ取っています。
あなたの目は涙の意味を知り
わたしたちがあなたの胸で泣くとき
愛と憐れみをもってわたしたちを見つめられます。

なぐさ ぬし せいれい
慰め主なる聖霊よ
あなたはわたしたちを神へと近づけ
平和の鳩がわたしたちの心を満たし
わたしたちが打ちひしがれても、わたしたちを癒やして下さいます。

しまい きょうだい
キリストにある姉妹、兄弟のみなさん
わたしたちを愛し
わたしたちと共に苦しみ
わたしたちの心を上げ
わたしたちが互いに重荷を分かち合うよう
わたしたちを促して下さる神と共にこの礼拝をはじめましょう。

(オーストラリアの女性たちによる式文「すべての母そして父」より)

く あらた いの 悔い改めの祈り

あわ ふか かみ じぶん かんが せま なか くる
憐れみ深い神よ、わたしたちは自分のことしか 考 えられない狭さの中にとどまり、苦し
みや なや なか しまいきょうだい め みみ ちんもく まも じぶん かか
み悩みのただ中にいる姉妹兄弟に目と耳をふさぎ、沈黙を守り、自分と関わりのない
ことのように生きようとしてきました。

どうぞ、そのようなわたしたちをお赦してください。

わたしたちの心を砕き、悔い改めて新しく生きるものと造りかえてください。

わたしたちをとりなしてくださる主イエス・キリストによって。アーメン

しゅ みな
司式者 主は皆さんとともに

会衆 また、あなたとともに

いの
司式者 祈りましょう

い ちから あた かみ
生きる力を与えてくださる神よ

わたしたちのしゃかい きょうかい
社会も教会も

おお さべつ ぼうりよく もくにん なが あいだう い
多くの差別と暴力を黙認し、長い間 受け入れてきました。

しゅ ひと ぞんげん どうと かいふく
主イエスはすべての人の尊厳を尊ばれ、いのちを回復されます。

こころ からだ きず くる いた おそ なか ひと
心と身体が傷ついて苦しみ、痛みと怖れの中にいる人びと

じよせい しょうじよ
ことに女性と少女たちに、

こえ ゆうき あた
声をあげる勇気を与えてください。

あなたのい
癒やしによって

きぼう みいだ みちび
希望を見出すことができるように 導 いてください。

そしてわたしたちがちい こえ こえ こえ みみ かたむ
小さな声、声にならない声に耳を傾け、

とも い
共に生きることができますように。

わたしたちと一緒 ひとつ いの しゅ な
に祈ってくださる主イエスのみ名によって

一同 アーメン

(『わたしたちの祈り集 ころを神に』「女性」が教会を考える会・東京/2019年改訂版より一部加筆)

詩篇 第98編

- 1 新あたしい歌うたを主しゅに歌うたえ。神かみは不思議ふしぎなみ業わざを行おこなわれた || その偉い大な右みぎ手て、尊とういみ腕うでは救すくいの力ちから
- 2 主しゅは救すくいを示しめし || 諸しよ国こくの民たみに正義せいぎを現あらわされた
- 3 慈いつくしみとまことをもつて、イスラエルの家いえに心こころを留とめられる || 遠とおく地ちの果はてまで、すべものての者かみが神しゅの救すくいを見みた
- 4 世界せかいよ、主しゅに向むかって喜よろこびの聲こえを上げ || 声こえを放はなち賛美さんびの歌うたで神かみをほめよ
- 5 豎琴たてごとを奏かなでて主しゅをたたえ || その調しらべに合あわせてほめ歌うたえ
- 6 ラッパつと角笛ぶえを吹ふき鳴ならし || 王おうである主しゅのみ前まえで喜よろこびの聲こえを上げよ
- 7 海うみとそこみに満みちるものはどよめき || 世界せかいとそこすに住ものむ者は歌うたえ
- 8 川かわの流れながは手てを打うち鳴ならし || 山やま々はともしゅに主まえのみ前よろこに喜うたび歌え
- 9 神かみは世界せかいを審さばきに来こられる || 正義せいぎで世界せかいを、公正こうせいですべての民たみを審さばかれる
栄光えいこうは || 父ちちと子こと聖せい霊れいに
初はじめのように、今いまも || 世よ々に限かぎりなく アーメン

聖書 ヨハネによる福音書第12章1節～11節

朗読者 聖書はヨハネによる福音書 第12章1節から

1 過越祭すぎこしさいの六むい日前かまえに、イエスはベタニアに行いかれた。そこには、イエスが死者ししやの中なかからよみがえらせたラザロらざろがいた。2 イエスのためにそこで夕食ゆうしょくが用意よういされ、マルタは給仕きゅうじをしていた。ラザロは、イエスと共に食事しょくじの席せきに着ついた人々ひとびとの中なかにいた。3 そのとき、マリアまリアが純粋じゆんすいで非常ひじょうに高価こうかなナルドナルドの香油こうゆを一もリトラき持って来て、イエスの足あしに塗ぬり、自分じぶんの髪かみでその足あしをぬぐった。家いえは香油こうゆの香かおりでいっぱいになった。4 弟子でしの一人ひとりで、後のちにイエスを裏切うらぎるイスカリオテイスカリオテのユダユダが言った。5 「なぜ、この香油こうゆを三百さんびゃくデナリオンデナリオンで売うって、貧しい人々ひとびとに施まさなかつたのか。」6 彼かれがこう言ったのは、貧しい人々ひとびとを心こころにかけていたからではない。彼かれは盗人ぬすびとであつて、金入れかねいを預あずかっているが、その中身なかみをごまかしていたからである。7 イエスは言いわれた。「この人ひとのするまにさせておきなさい。わたしの葬ほうむりの日ひのために、それを取とって置おいたのだから。8 貧

しい人々(ひとびと)はいつもあなたがたと一緒(いっしょ)にいるが、わたしはいつも一緒(いっしょ)にいるわけではない。」⁹ イエスがそこにおられるのを知(し)って、ユダヤ人(じん)の大群衆(だいぐんしゅう)がや(き)って来た。それはイエスだけが目(め)当て(あ)てではなく、イエスが死者(ししや)の中からよみ(なか)がえらせたラザロ(らざろ)を見る(み)ためでもあった。¹⁰ 祭司長(さいいしちよう)たちはラザロ(らざろ)をも殺(ころ)そうと謀(はか)った。¹¹ 多くのユダヤ人(おおじん)がラザロ(らざろ)のこ(はな)と離(しん)れて行(はな)って、イエス(イエス)を信(しん)じるようになったからである。

朗読者(せいしよ) 聖書(お)を終わ(お)ります

説教

沈黙

一同しばらく沈黙を守る

奉献

4 1 1 (ひとりの女が)

(北海道教区有志グループ「虹色のはこぶね」の活動のためにおささげします。)

すべてのものは主(しゆ)の賜物(たまもの)、わたしたちは主(しゆ)から受(うけ)けて主(しゆ)に献(ささ)げたのです。

アーメン

司式者(いの) 祈(いの)りましよう

神(かみ)よ、今(いま)、わたしたちはあなた(あなた)の前(まえ)に集(あつ)められ、暴力(ぼりよく)と差別(さべつ)にさらされている女性(じよせい)たちの叫(さけ)び声(こゑ)に耳(みみ)を傾(かたむ)ける時(とき)を与(あた)えられました。特に(とく)、教会(きよukai)の中(なか)のセクシュアル・ハラスメント(sexual harassment)によつて傷(きず)ついた女性(じよせい)、家庭内暴力(かていないぼりよく)にさらされている女性(じよせい)、移住労働者(いじゆうろうどうしや)の女性(じよせい)、内戦(ないせん)、紛争地域(ふんそうちいき)にいる女性(じよせい)、戦争(せんそう)の下(もと)で慰安婦(いあんふ)とされた女性(じよせい)、差別(さべつ)や偏見(へんけん)のゆえに、この世(よ)にいのちを送(おく)り出すことを許(ゆる)されなかつた女性(じよせい)たちとともに、わたしたちはこれら(これら)の叫(さけ)びを心(こころ)に留(と)め、よく考(かんが)えて語(かた)つと務(あた)めを与(あた)えられていると信(しん)じます。心(こころ)と身体(からだ)に深(ふか)い傷(きず)を受け、生(い)きる力(ちから)を奪(うば)われ、時(とき)にいのちさえ失(うしな)うこともあるこれら(これら)の人(ひと)びと(ひと)の声(こゑ)をわたしたち(わたしたち)が語(かた)つづける力(ちから)をお与(あた)えください。この世界(せかい)を変(へん)革(かく)する望(のぞ)みと力(ちから)をお与(あた)えください。そして、この人(ひと)びと(ひと)こそ、これから(これから)に向(む)けて希(き)望(ぼう)を語(かた)る力(ちから)をもつのだ(のだ)ということ(こと)をどうか悟(さと)らせてください。主(しゆ)イエス(イエス)のみ名(な)によつて。

一同 アーメン

司式者 ^{いま}今^{とき}この時にも、^{せかい}世界の^{かくち}各地で^{たたか}戦いや^{ぼうりよく}暴力によって、^{にんげん}人間の^{そんげん}尊厳が^{おびやか}脅かされ
ています。^{とみ}富と^{ちから}力あるものが「^{せいぎ}正義」を^{まず}ふりかざし、^{よわ}貧しく^{たちば}弱い^{ひと}立場の人びと
のいのちが^{うば}奪われ、^{さら}更なる^{ぎせいしゃ}犠牲者^でが出ようとしています。^{くに}国と^{くに}国、^{ちから}力と^{ちから}力のぶ
つかり合いのはざままで、^{ぼうりよく}暴力に^お押しつ^おぶされる人びとの^{こえ}声にならない^{さけ}叫びを、
^あ主よ、^きあなたが^{たたか}聞いてください。^{たか}すべての^{さけ}戦いと^{さけ}めてください。^{わたしたち}も
^{ぼそ}か^{こえ}細く、^{こえ}声にならない^き声^{なが}を聞き^な流すことがないように、^{みちび}導いてください。そし
て、^{ぼうりよく}暴力の^{れんさ}連鎖を^た断ち^き切り、^{へいわ}平和を^{つく}造り^だ出す^{ちえ}知恵と^{ゆうき}勇気を^{あた}わたしたちにお与
えください。^{ぼうりよく}暴力の^ふ吹き^あ荒れる^ち地の^{ひと}すべての人びとに^{みち}いのちの^{かくりつ}道が^{もち}確立される
ように、^{もち}わたしたちを用いてください。

一同 アーメン

司式者 ^{みなもと}すべてのいのちの^{かみ}源である^{うらぎ}神よ、^{じゅうじか}あなたは^{くる}裏切られ、^ひ十字架の^{きず}苦しみを引
き^う受け、^し死ぬこと^かですべてのいのちを^{かいふく}回復して^{かみ}くださいました。^{きず}神よ、^{あた}傷つけ
られた^とすべてのいのちを^{もど}取り^{きず}戻し、^{もの}傷つける^{ころ}者の^{やみ}心の^て闇を^あ照らし、^あすべての
^{ひぞうぶつ}被造物に、^{しゅ}主にある^{わか}和解と^{いっ}一致^あをお与えください。

一同 アーメン

司式者 ^{しゅ}主イエス・^{おし}キリストが^{いの}教えられたように^{いの}祈りましょう

一同 ^{てん}天におられる^{ちち}わたしたちの^{ちち}父よ、

^なみ^{せい}名が^{せい}聖と^なされますように。

^{くに}み^{くに}国が^なきますように。

^{ころ}み^{てん}心が^{おこな}天に^ち行われると^{おこな}おり^ち地にも^{おこな}行われますように。

^ひわたしたちの^か日ごとの^{かて}糧を^{きよう}今日も^あお与えください。

^{つみ}わたしたちの^{つみ}罪を^{ひと}おゆるし^{ひと}ください。わたしたちも^{ひと}人を^{ひと}ゆるします。

^{ゆうわく}わたしたちを^{ゆうわく}誘惑におちいらせず、

^{あく}悪から^{すく}お救い^{すく}ください

続いて一同次の言葉を歌いまたは唱える

^{くに}国と^{ちから}力と^{えいこう}栄光は、^{えいえん}永遠にあなたのものです アーメン

しゅくふく はけん
祝福と派遣

司式者 傷きずつていた手つかをもつって仕つかえてくださるイエス・キリストが
会衆 互たがいに仕つかえ合あうよう わたしたちを助たすけてくださいますように
司式者 傷きずつこいた心ころをもあって愛あいしてくださるイエス・キリストが
会衆 互たがいに愛あいし合あうよう わたしたちを助たすけてくださいますように
司式者 傷きずつあいた足あしをもあって歩あゆんでくださるイエス・キリストが
会衆 わたしたちの旅たび路じを 共ともに歩あゆんでくださいますように
司式者 わたしたちの行いくところいにいつも主しゅの祝しゅく福ふくがありますように
会衆 わたしたちが出で会あう人ひとすべての主しゅの姿すがたを見みることができますように

聖 歌 6 1 (愛する民を)

後 奏

1 あ い す る た み を み な な ぐ さ め よ
 2 あ れ の に も た さ の み け ら ぶ み こ え な は き こ の え ら る も
 3 あ た か き も の の け ら も ひ く き も の の え ら る も

し く い た げ ら ら れ し た み を た す け よ
 こ い こ あ る を ひ ら ら れ し た み を た す け よ
 こ い こ あ る を ひ ら ら れ し た み を た す け よ

み く に を の ぞ み へ い わ を か た れ
 主 の お と い の ず れ の み へ い わ を か た れ
 主 の お と い の ず れ の み へ い わ を か た れ

な や み を の の ぞ く み ち か ら を み よ
 さ ば き の こ の ま と え には ち き か ら を み よ
 さ ば き の こ の ま と え には ち き か ら を み よ

7777D

Tröstet, tröstet meine Lieben
 Johannes G. Olearius (1611-1684)

PSALM 42
 Claude Goudimel (1514-1572)

1 愛する民を みな慰めよ
虐げられし 民を助けよ
み国を望み 平和を語れ
悩みを除く み力を見よ

2 荒野に叫ぶ 声は聞こえる
悔い改めよ み国は来る
主の訪れの 道を備えよ
裁きの前に よき実を結べ

3 高き者らも 低き者らも
心を低く み前に出でよ
主の栄光は 地に現れて
神の言葉は とこしえに立つ

イザ40：1-8 マコ1：1-8 パル5：7 ヨハ1：14

1 ひ と り の お ん な は み ず か ら つ ほ を
 2 ひ と り の お ん な は よ あ の は か に
 3 か と り の さ い つ づ け た お あ ん の の す が た
 4 せ い れ い は し め す わ れ は と も

こ わ し て 主 イ エ ス に こ う ゆ を そ そ ぐ
 み わ し か い の か ン ス ン ン こ う ば を そう け て て も
 き つ か れ ず の か お ン ン ン こ し と ら な く す て べ て も
 お かん な も お ン ン ン こ も ど も も

主 イ エ ス は よ ろ こ び そ し り を の ぞ た き
 使 徒 ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン
 せ 徒 ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン
 よ ろ ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン

十 字 架 そ な え の か た め と か た る
 主 の 架 の が え の を よ み と び っ げ る
 へ の だ よ の が え の を よ み と び っ げ る
 ち か と ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン

8787D

A prophet-woman broke a jar
 Brian Arthur Wren (1936-)

© 1983 Stainer & Bell Ltd, London, England. www.stainer.co.uk

MEGERRAN
 Walter K. Stanton (1891-1978)

1	ひとりの女は 壊して主イエスに 主イエスは喜び 十字架の備えの	みずか つば 自ら壺を 香油を注ぐ そしりを除き 記念かた かたみと語る
---	--	---

2	ひとりの女は み使いの語る 使徒から使徒へと 主のよみがえりを	よ あ はか 夜明けの墓に 言葉をうけて つぶさに伝え 喜び告げる
---	--	---

3	隠され続けた 聞かれず書かれず 聖霊の息は 隔てを壊して	すがた 女の姿 知られなくても 豊かに臨み 痛みを癒す
---	---------------------------------------	---

4	聖霊は示す 女も男も 喜び迎えて 力と賜物	とも われらは友と 子どももすべて 互いに仕え 献げて歩め
---	--------------------------------	---

ヨハ12：1-8 ルカ23：56-24：10 ヨハ20：11-18
使2：1-12 1コリ12：4-11 ガラ3：28

1 き ま せ せ い れ い よ い の り に こ た え
 2 あ ま つ み ひ か り よ く ら き を て ら し て
 3 き よ け き ほ の お よ け が れ を や き て

く す し き ち か ら を あ ら わ し た ま え
 い の ち の み ち へ と あ す す ま せ た ま え
 ま た き い け に え と な さ し め た ま え

8787

- 1 来ませ聖霊よ 祈りにこたえ
 くすしき力を 現わしたまえ
- 2 天つみ光よ 暗きを照らし
 命の道へと 進ませたまえ
- 3 きよけき炎よ けがれを焼きて
 またきいけにえと なさしめたまえ
- 4 吹きすさぶ風よ 世の果てまでも
 うれしきおとずれ 響かせたまえ
- 5 平和呼ぶ鳩よ み民を覆い
 みつばさのかげに 宿らせたまえ
- 6 来ませ聖霊よ 祈りにこたえ
 この世をみ国と ならしめたまえ

使1:8 詩16:11 イザ10:17 マコ16:15 詩17:8

Spirit divine, attend our prayer
 Andrew Reed (1787-1862)

GRÄFENBURG
 Johann Crüger (1598-1662)